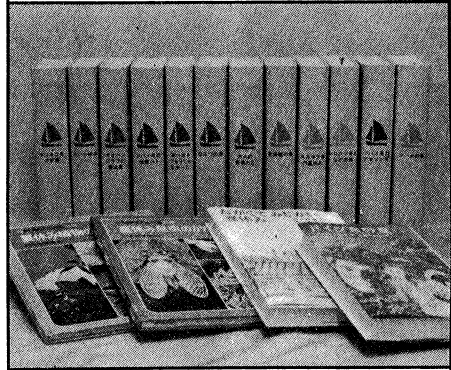


# 夏休みのための 子供の本

県立図書館主任司書  
浦井 洋子



## 図書館コーナー

りでなく、母親の蒸発という、人生の宿題もつきつけられた少女の物語（中学年から）

「イギーの家」 八八〇円

（ジュディ・ブルーム著 長田敏子 偕成社 現代のジュニア文学）

一週間、ほんとうにわずか一週間だったのだろうか。何年もたったように感じられる。

十一歳の夏休みが終わろうとしているいま、ウイニーは、親友のイギーが去ってからのさまざまな出来事を思う。

白人地域に、黒人の一家が引越して来たことから、ウイギーの周囲には、いろいろなトラブルが起こります。

一少女の目を通して、人種問題に光をあて、大人の社会のエゴイズムをすくなくついた物語です。（高学年から）

「ドイツ兵の夏」 一、二〇〇円

（ベティ・グリーン著 内藤理恵子 偕成社 現代のジュニア文学）

第二次世界大戦のさ中、アメリカ南部の小さな町に、ドイツ兵の捕虜が送られて来ました。この町に住むユダヤ系の少女と、自由を求め生命をかけて収容所から脱走した捕虜との間に芽ばえた友情を、社会は許しません。

世の中の偏見と戦いながら、主人公パティが少女時代へ別れをつけ、精神の独立をかちとるまでを感動的に描

きます。（高学年から）

× × × ×

長い休暇の間に、一つのシリーズを読みあげるといっても、夏休みならではの事です。また、長編を読みこなす訓練を身につけるのも夏休みは最適です。

この愉快なシリーズを、小学校高学年から中学生へ、ぜひ、おすすめします。

「アーサー、ランサム全集」

各一、六〇〇円

全十二巻（アーサー・ランサム著

岩田欣三、神宮輝夫訳 岩波書店）

「ツバメ号とアマゾン号」「ツバメ

の谷」「ヤマネコ号の冒険」「長い冬

休み」「オオパンクラブの無法者」「ツ

バメ号の伝書バト」「海へ出るつもり

じゃなかった」「ひみつの海」「六人

の探偵たち」「女海賊の島」「スカラ

ブ号の夏休み」「シロクマ号となぞの

島」

ウォーカーきょうだい、ブランケッ

ト姉妹、カラムきょうだい、が休暇中に

繰り広げる、数々の海洋冒険物語。

七つの海を制覇したイギリスの冒険

と自由の精神が、そのまま、子供たち

の日常生活にひきつがれ、少年少女の

冒険へ夢が、着々と実現されてゆく愉

快な物語です。

夏休み!! それは、子供たちにとつて、わくわくするような自由な一か月間であり、冒険の季節です。

子供のこの世界でも、夏休みは、未知の世界への入口であり、人生の転換期です。

そこで、夏休みをひかえて、夏休みを扱った子供の本を紹介します。

「ぼくのもだちミィシカ」八〇〇円

（ニコライ・ノーツフ著 清水陽子 訳 童心社）

ソビエトの大自然の中で、ピオネールキャンプを舞台に繰り広げられるほど親友のミィシカのゆかいな騒動。短編集（中学生向）

「夏休み昆虫かんさつ」 八八〇円

「夏休み植物かんさつ」 八八〇円

（大後美保監修 あかね書房 科学のアルバム別巻）

夏休みは、昆虫、植物の成長や習性を観察したり、標本を作るのに最適な季節です。これらの本を参考に長い休暇の間に何かひとつテーマを決めて、自然観察をしてはいかがでしょうか。（中学年から）

「ながくてみじかい夏休み」七八〇円

（岩本敏男著 偕成社）

一学期最後の通信簿の日、ひろ子のお母さんは、勤めにいったまま、とうとう帰ってこなかった。

お父さんは、おじいちゃんの看病に行ったりというけれど、なぜ誰にも連絡しないで、黙って行ってしまったのだろうと、ひろ子は不審に思う。四年生の夏休みに、学校の宿題はか